



DIGITAL MIXING SYSTEM

**RIVAGE**  
PM SERIES



# PERFECTING THE ART OF LIVE SOUND

すべてのアートは、アーティストの内面の想いから発し、波紋のように大きく広がって、観る者や聴く者の心を揺さぶります。中でも音と音楽に情熱を捧げるアーティストとエンジニアは、我々ヤマハが心から応援したい、この上ない存在です。

ヤマハは、この波を生み出し、一人でも多くの観客に想いを届けようとするアーティストと、それをサポートするエンジニアを支えています。



# DELIVERING ART AROUND THE WORLD

エンジニアを支える上で、ヤマハは決して品質について譲ることはありません。妥協なき音質、操作性、信頼性はもちろん、安心感と操作する喜びをも感じられる製品を提供しなければなりません。エンジニアはアーティストのパフォーマンスを最高の状態で客席に届けることだけに集中できる。RIVAGE PMシリーズは、この理念を最高のレベルで実現し、技術とアート、そして観客とを強く結びつけます。





# AN ALL-EMBRACING ECOSYSTEM

RIVAGE PMシリーズに、新たにRIVAGE PM5とRIVAGE PM3、そしてDSPエンジンの新モデルが加わることで、RIVAGE PM10、RIVAGE PM7とともに、5種類のコンソール、3種類のDSPエンジン、2種類のI/Oラックから成るラインナップへと成長しました。これらのコンポーネントを自由に組み合わせて、用途や予算に応じた多様なシステムを作り出すことができます。5種類のコンソールはすべて、12フェーダー構成、タッチパネル、そしてヤマハ伝統のSelected Channelセクションを備えたインターフェースを搭載。ヤマハデジタルミキサーの使用経験があるエンジニアなら、RIVAGE PMシリーズのコンソールに乗り換えてもすぐに使いこなすことができます。全てのRIVAGE PMシリーズコンポーネントは互換性を持ち、新しいコンソールと従来のDSPエンジンやI/Oラックを組み合わせることができます。これらを個別のアプリケーションで動作させるだけでなく、たとえば大規模コンサート用にDSPエンジンを組み合わせてミラーリングすることもできます。

## 2種類のDSPエンジンとDSP内蔵コンソール

RIVAGE PMシリーズでは、288Input、72Mix、36Matrixを備えたDSP-RX-EX、または120Input、48Mix、24Matrixを備えたDSP-RXをシステム規模に応じて選択できます。また従来のDSP-R10も使用可能であり、いずれも優れたRIVAGE PMサウンドと安定性を誇るDSPエンジンです。DSP-RXをDSP-RX-EX仕様にアップグレードするDSP拡張キット(DEK-DSP-RX)もご用意しています。よりコンパクトなシステムが要求される場面では、DSP内蔵型コンソールのRIVAGE PM7を選択できます。他に必要なコンポーネントは、入出力用のI/Oラックとネットワーク接続用の専用インターフェースカードのための、シンプルなシステムを構築できます。デジタルミキシングコンソールCSD-R7は、RIVAGE PM10のコントロールサーフェスCS-R10と同じ大きさで、コントロールレイアウトも同じです。

## 「ステージで鳴っている、ありのままの音」を取り込む2種類のI/Oラック



RIVAGE PMシリーズは、2種類のオーディオネットワークそれぞれに対応したI/Oラックを組み合わせることで入出力を構成します。オーディオネットワークTWINLANEに対応したI/OラックRPio622/RPio222では、ヤマハ伝統のナチュラルサウンドを極めたアナログ部と、Rupert Neve Designs社のSILKプロセッシングによって音楽的なサウンドを実現したデジタル部、これらから成る「ハイブリッドマイクプリアンプ」を通した音を取り込むことができます。オーディオインターフェースカードHY256-TL/HY256-TL-SMFと組み合わせることで、光ファイバーケーブルによる最大400chのTWINLANEネットワークシステムを構築できます。Audinate社のオーディオネットワークDanteに対応したI/OラックRio3224-D2/Rio1608-D2では、「RIVAGE PMシリーズ直系」のナチュラルサウンドを取り込むことができます。オーディオインターフェースカードHY144-D/HY144-D-SRCと組み合わせることによって、自由度の高いDanteネットワークシステムを構築できます。「ステージで鳴っている、ありのままの音」を取り込む能力が、後にさまざまな方法で行う音の色付けの揺るぎない土台となるのです。



DIGITAL MIXING SYSTEM

# RIVAGE

PM SERIES



# DIGITAL MIXING SYSTEM RIVAGE PM5



## EVOLVED CONSOLE DESIGN: INCREDIBLY SLIM, LIGHTWEIGHT, AND INTUITIVE

RIVAGE PM5は、RIVAGE PMシリーズならではのパワーと性能を、軽量で直感的操作が可能なボディに凝縮した、驚くほどスリムなコンソールです。RIVAGE PM10やRIVAGE PM7と同等のサウンドと機能を持ち、さらにハードウェアとソフトウェアの改良により新たなミキシング体験を提供します。第3のタッチパネルディスプレイを加えることによってより直感的なインターフェースを実現した42kgという驚異的な軽量コンソールは、あらゆる場所への持ち運びや設置を容易にします。

### 使いやすいレイアウト、 さらに改善したサイトライン



RIVAGE PM5は、タッチパネルをオペレーターに近づけたスリムなデザインを採用。3つのタッチパネルを駆使したスムーズで快適なオペレーションを実現します。さらに、エンジニアのサイトラインが大幅に改善することで、ステージ全体を広くとらえることができ、アーティストとの連携をより高めることができます。

### 3つの15インチ静電容量式タッチパネル



RIVAGE PM5の優れた機能の多くが3つの15インチタッチパネルに凝縮されています。大型で見やすいタッチパネルには、わかりやすく整理された情報と基本的なコントロール操作子がまとめられており、エンジニアはすばやく効率的に状況を把握して対応できます。基本的なタッチ操作はもちろん、静電容量式タッチパネルによるピンチイン・アウトやスワイプなどのジェスチャーにも対応するなど、タッチパネルの操作性が大幅に向上することでより快適な操作性を提供します。

### 伝統のヤマハ Selected Channel セクション



Selected Channelは、これまで多くのヤマハデジタルミキシングコンソールに搭載されており、サウンドエンジニアに愛用され、高い評価を得てきました。RIVAGE PMシリーズの Selected Channelセクションも同様にデジタルコンソールならではの豊富なパラメーター群をコンパクトにまとめ、直感的で素早い操作を可能にしました。Selected Channelセクションとタッチパネルを組み合わせることにより、効率的に操作することができます。

### 設置しやすく可搬性の高い軽量設計



RIVAGE PM5は、ハードな運用に耐える堅牢性と大きく快適なインターフェースを備える一方で、驚くほどの軽量化を実現しました。重量はわずか42kgで、少人数でも容易に運搬、設置することができます。この大幅な軽量化は、最先端の機械設計と、軽量で耐久性の高いアルミニウム素材を採用することで実現しました。

### センドオペレーションの操作性向上



センドオペレーションはあらゆるライブミキシングにおいて重要なワークフローです。RIVAGE PM5ではおなじみの Sends on Fader 機能やチャンネルストリップエンコーダーを用いたセンドレベル調整に加えて、User Defined Knob とタッチパネルを組み合わせた新たな操作方法により、エンジニアにとってさらに快適なワークフローを提供します。

### 視認性の高いフェーダーメーター



フェーダーのそばにレベルメーターを設置したことで、フェーダー操作時のレベル確認の視認性が向上し、よりスムーズで精確なコントロールが可能になりました。このフェーダーメーターはモノラル・ステレオ時のレベル表示はもちろん、ダイナミクスのゲインリダクションの確認も可能です。



# DIGITAL MIXING SYSTEM RIVAGE PM3



## THE COMPACT RIVAGE PM CONSOLE FOR MAIN OR MONITOR USE

RIVAGE PM3はRIVAGE PMシリーズの中で最もコンパクトで、幅1,145mm以上のスペースがあれば設置が可能です。コンパクトなボディに収められたRIVAGE PM3の優れた性能は、設置場所に制限のある会場やモニター用途に最適です。RIVAGE PM3は、24個+2個のUser Defined Keyを搭載したシンプルなシングルディスプレイのインターフェースを備えており、様々な機能にアクセスしやすく高速な操作を実現します。コンパクトながらも他のRIVAGE PMシリーズと同じ音質、機能、38本のフェーダーを備えており、直感的なミキシングが可能です。

### 38本のフェーダーを搭載



RIVAGE PM3はRIVAGE PMシリーズで最もコンパクトなモデルながら、38 (12+12+12+2) 本構成のフェーダーを搭載しています。これは直感的なミキシングを可能にするRIVAGE PMシリーズに共通の構成\*で、エンジニアはどのRIVAGE PMシリーズのコンソールでも戸惑うことなく操作できます。

\*CS-R10-Sは除く。

### 静電容量式の大型タッチパネルとSelected Channelセクション



タッチ感度にも優れた静電容量式タッチパネルの15インチディスプレイを搭載。基本的なタッチ操作だけでなくピンチイン・アウトやスワイプなどのジェスチャーも使用できるため、操作効率が大幅に向上します。

また、ディスプレイはおなじみのヤマハ Selected Channelセクションと連動し、基本的な物理操作子もコンパクトにまとめています。重要なコントロール項目や情報がわかりやすく整理されて表示されるため、エンジニアは状況をすばやく把握しつつ、直感的な操作が可能です。



### 軽量でコンパクトながらも充実の機能



RIVAGE PM3はわずか38kgと軽量で、RIVAGE PMシリーズの中でも最も可搬性に優れた扱いやすいコンソールです。軽量であっても音質や機能は損なわれておらず、他のRIVAGE PMシリーズと同じソフトウェアと操作性を有しており、小型、軽量でシンプルなボディに、あらゆる性能を凝縮しています。

### センドオペレーションの操作性向上



センドオペレーションはあらゆるライブミキシングにおいて重要なワークフローです。RIVAGE PM3ではおなじみの Sends on Fader 機能やチャンネルストリップエンコーダーを用いたセンドレベル調整に加えて、User Defined Knobとタッチパネルを組み合わせた新たな操作方法により、エンジニアにとってさらに快適なワークフローを提供します。

### 24個+2個のUser Defined Key



RIVAGE PM3は、よく使う機能をワンタッチで呼び出せるUser Defined Keyをシリーズ最多の24個+2個装備。より多くの機能を瞬時に呼び出すことが可能で、モニターミキシングなどにおける素早いワークフローにも柔軟に対応できます。



DIGITAL MIXING SYSTEM

# RIVAGE

PM7

DIGITAL MIXING SYSTEM

# RIVAGE

PM10



## LUXURIOUS WORKSPACES FOR LARGE-SCALE APPLICATIONS

RIVAGE PMシリーズのコンソールはいずれも同等の機能を備えていますが、用途によってはフルサイズのコンソールが必要になる場面があります。多くのチャンネルや多数のパラメーターをスムーズに操作することを要求される大規模アプリケーションでは、豊富な物理操作子と贅沢なワークスペースを備えたフラッグシップのRIVAGE PM10とRIVAGE PM7が適しています。

### ヤマハ Selected Channelセクションをフル装備



コントロールサーフェスのトップパネル右側には、ヤマハ定番の Selected Channelセクションをフル仕様でレイアウト。SELキー選択したチャンネルの主要なパラメーターをダイレクトに操作できます。左側にはタッチオペレーションに対応した2つの大型液晶タッチパネルを搭載\*し、手前へ流れるように繋がるフェーダー面とのコンビネーションにより、定評のある Centralogicと同様の操作性を実現。これら2つの特長に加え、エンコーダー周りの視認性を向上させるなど、快適かつ確実なオペレーションのためのディテールにも気を配りました。

\*CS-R10-Sは1つ

### 柔軟なモニターセクション



幅広いシチュエーションで使われるライブコンソールでは、モニターセクションの柔軟性も大切な要素の1つです。RIVAGE PMシリーズでは2系統のモニター出力/CUEバスを装備し、モニターソースは最大8つまで保存した組み合わせの中からそれぞれ選択可能。出力レベルの設定も独立して行えます。ここには専用のディレイのほか、8バンドのパラメトリックEQを搭載。EQの直前にプラグインをインサートすることも可能です。このように充実したモニターセクションによって、目的に合わせたモニター環境を柔軟に構築することができます。

### エルゴノミクスデザイン



RIVAGE PMシリーズのコンソールはすべて人間工学に基づいて設計しています。操作時はもちろん、運搬時やセットアップの時でもストレスや疲労を最小限に抑えます。ライブパフォーマンスのミキシングにおいてサイトラインも重要なポイントです。RIVAGE PMシリーズのコンソールはステージとアーティストをクリアに見渡せるよう設計しており、エンジニアの位置からの優れた視認性と使いやすさを確保するだけでなく、操作中に視線を大きく動かすことなくステージの様子を見ることができます。

### 外部ディスプレイをサポート



RIVAGE PM10、RIVAGE PM7は本体の15インチディスプレイとは別に、DVIポートを介して外部ディスプレイを接続することでさらに視認性を向上させることができます。

### 細部の使い勝手を高める気配り



RIVAGE PM10、RIVAGE PM7の主要なエンコーダーにはパラメーター値を示すインジケーターが備わっており、つまみの周りを馬蹄型に囲んでいます。ホースシューリングと名付けたこのデザインは、フェーダーストリップのマルチファンクションエンコーダーなどのつまみを手前から見た場合、インジケーターの12時の位置が隠れないようにするなど、視認性に配慮しています。フェーダーノブの形状も特長の1つ。指をどの部分に置いても確実で心地よい操作感が得られるデザインは、実際に使ってみて初めて深く実感できる部分です。

### デュアルエンコーダー



RIVAGE PM10、RIVAGE PM7は、各チャンネルに2つのエンコーダーを装備しています。5つの機能を割り当てられるチャンネルストリップエンコーダーと、隣接するタッチパネル上に対応したパラメーターを制御するスクリーンエンコーダーです。物理操作子であるエンコーダーは、リアルタイムでのコントロール時に圧倒的な利便性を提供します。各チャンネルで2つのエンコーダーを使用できるRIVAGE PM10とRIVAGE PM7は極めて優れた操作性を有しています。



# RIVAGE PM SERIES PHILOSOPHY AND FEATURES

創造性豊かな音作りの出発点は、無色透明なサウンドです。それがヤマハミキサーの根幹を成す考え方であり、哲学と言ってもいいでしょう。ステージで鳴っている音をありのままに取り込み、そこからさまざまな色付けを行う。これまでヤマハが一貫して追求してきたコンセプトは、RIVAGE PMシリーズでもしっかりと受け継がれています。

その土台となるのが、伝統のナチュラルサウンドを極めたアナログ部と、ヤマハ独自のモデリング技術VCMテクノロジーでさらに進化を遂げたデジタル部から成る、新開発の「ハイブリッドマイクプリアンプ」です。特にデジタル段では、Rupert Neve Designs(RND)社のトランスフォーマー回路と、同社のマイクプリでお馴染みのSILKプロセッシングをモデリングすることで、音楽的で空気感豊かなサウンドを実現。各チャンネルのEQ／ダイナミクスも強化し、音作りのバリエーションを大きく広げました。

クリエイティブなサウンドづくりをサポートする内蔵プラグインも、さらに進化を遂げています。中でも特に力を注いだのが、高い評価を得ているサードパーティーとのコラボレーションです。RND社との共同開発により、70年代&80年代の名機をVCMテクノロジーで新たにモデリングしたEQおよびコンプレッサーの他、Eventide社とのコラボレーションによるハーモナイザーやリバーブなど、サードパーティーとの協業により初めて作りえたプラグインも搭載しています。

すべては音楽的なサウンドのために。最上の質感を目指して丹念に積み重ねてきた研究の結果が、RIVAGE PMシリーズの音を形作っているのです。

## 2種類のオーディオネットワークとI/O

高水準の音質を実現するには、入力回路と音声処理が特に重要です。また、シグナルチェーンの最終段であるアウトプットは、品質を保つ上でも大切な役割を果たします。RIVAGE PMシリーズでは、入出力構成のためにそれぞれ異なるオーディオネットワークに対応する2種類の高性能I/Oラックを用意しています。

そのオーディオネットワークのひとつは、96kHzクオリティのオーディオ信号を極めて短いレイテンシーで最大400ch伝送できるヤマハ独自規格のTWINLANeです。I/OラックRPio622/RPio222とTWINLANeに対応したオーディオインターフェースカードHY256-TL/HY256-TL-SMFを光ファイバーケーブルを用いて接続することで、TWINLANeネットワークを構築します。I/OラックRPio622/RPio222は、高性能アナログインプット段に加えて、RND社のトランスフォーマー回路とSILKプロセッシング回路を高精度にモデリングする高度なデジタル段を備えた「ハイブリッドマイクプリアンプ」を搭載しています。

そしてデジタルミキサー「CL/QLシリーズ」をはじめとする主要なヤマハ製品や、多くのプロオーディオ機器メーカーが採用しているAudinate社のオーディオネットワーク規格Danteとの互換性も備えています。Danteを用いることで、標準的なネットワーク機器上で自由度の高いシステムを構築できます。I/OラックRio3224-D2/Rio1608-D2、そしてオーディオインターフェースカードHY144-D/HY144-D-SRCはすべてDanteに対応しており、すべてのRIVAGE PMシリーズのシステムと組み合わせて「RIVAGE PMシリーズ直系」のナチュラルサウンドを、取り込むことができます。

いずれのネットワークソリューションも、余計な色づけを排し、細かなニュアンスを損なうことなく「ステージで鳴っている、ありのままの音」を取り込むことができるため、エンジニアはRIVAGE PMシリーズの創造力豊かな性能を最大限に活かして観客に最高の音を届けることができます。

## 豊富なプラグイン

高度な音声処理技術は、ヤマハデジタルミキサーの大きな強みです。RIVAGE PMシリーズは、名機と呼ばれる古くからの定番モデルを含む幅広いプラグインが使用可能です。RIVAGE PMシリーズは50種類を超えるプラグインを搭載しており、余裕の処理能力を活かしてPortico 5033やPortico 5043といった高精度なプラグインをDSP-RX-EXでは最大256、DSP-RX、DSP-R10、CSD-R7では最大192インサートできます。また、Eventide社のウルトラハーモナイザーH3000と豊富なプリセットを備えた新しいリバーブSP2016、Dan Duganオートマチックミキサーなども搭載しています。これらの優れたサードパーティ製プラグインは、ヤマハ独自の各種プラグインを補完するとともに、優れた汎用性と処理能力によって、エンジニアによる幅広い自由な音作りを可能にします。

## RND社のPorticoプラグイン



RND社とのコラボレーションにより実現したSILKプロセッシングはRIVAGE PMシリーズで重要な役割を占めていますが、両社の協業の成果はこれだけにとどまりません。有名なイコライザーPortico 5033およびコンプレッサーPortico 5043に加え、操作性に優れたプライマリーソースエンハンサーPortico 5045を搭載しています。このプライマリーソースエンハンサーは、マイク入力のパックグラウンドノイズを効果的に抑制してよりクリアな音質を実現するとともに、フィードバックマージンを大幅に増加させることができ、教会やスタジアム、ホールなど音響的フィードバックが問題になり得る環境でのライブサウンドに最適なプラグインです。

## Eventide社のエフェクト



数ある名機と呼ばれるエフェクトを生み出したメーカーの中でも、Eventide社の名は広く知られています。高い評価を得ているウルトラハーモナイザーH3000-Liveと、新しいリバーブSP2016をRIVAGE PMシリーズに搭載しました。あらゆるニーズに応えるべく、精確にエフェクトを調整できるパラメーターを備えているほか、理想的なリバーブをすぐに呼び出すことができるように各種プリセットを用意しています。

## Dan Dugan オートマチックミキサー



自動最適化し、まるで数人の優れたオペレーターが操作をしているかのような、自然なレベルコントロールを実現します。さらにハウリングやコムフィルターの発生を抑制するなど、さまざまな恩恵も得られ、台本がないスピーチ現場でも、個々のフェーダー操作に煩わされることなく、質の高い安定したミックス作業を行えます。

## ヤマハ ダイナミックノイズサプレッサー DaNSe



RIVAGE PMシリーズには、ダイナミックノイズサプレッサーDaNSeをはじめ、ヤマハ独自のプラグインも幅広く取り揃えています。DaNSeは、マイクが拾う不要なバックグラウンドノイズを動的かつ自動的に抑制できるプラグインです。ノイズ周波数特性を分析し自動でパラメーターを設定する高性能なLearn機能により、複雑な設定を行うことなく、効果的なノイズ抑制のためのセットアップが完了します。DaNSeはその優れた自動検知機能と動的な仕組みにより、舞台上のささやくような小さな声や微細なニュアンスを残したままノイズだけを効果的に除去できるため、演劇やミュージカルにおいて大きな効果を発揮します。また、空調ノイズやムービングライトのファンノイズ、ステージモニターからのマイクへの被り、スポーツイベント時のアナウンスマイクへの観衆の声の被りなども抑制でき、幅広いシーンで利用できるノイズ抑制ツールです。



Dan Dugan Sound Design

独自のアルゴリズムによるオートマチックマイクロフォンミキサーで定評のある米Dan Dugan Sound Design社とも協業し、RIVAGE PMシリーズではDan Dugan オートマチックミキサーを標準搭載しました。セットアップは極めてシンプルでインプットチャンネルにインサートするだけです。最大64チャンネルのマイク回線のゲイン配分をリアルタイムで



# OPERATIONAL HIGHLIGHTS

ヤマハは、デジタルミキシングコンソールの操作性を常に重視し、これまでアナログコンソールを使ってきたエンジニアが直感的に操作できるインターフェースを提供すると同時に、デジタルの技術や機能を最大まで高めようと努めてきました。RIVAGE PMシリーズは、このコンセプトを新たなレベルへと高めています。すでに高い評価を得ているインターフェースを拡張して、究極のサウンドをより効率的に、そして容易にもたらすことでエンジニアがサウンドに集中できる安心感と、操作する喜びを提供します。



## 洗練されたインターフェース

RIVAGE PMシリーズのコンソールのインターフェースで重要なのは業界標準とも言えるヤマハ Selected Channel セクションです。エンジニアは、SEL キーで選択した任意のチャンネルのパラメーターにダイレクトに素早くアクセスできます。パネルスペースを最大限に活用した総合的なレイアウト上にエンコーダーやボタン、インジケーターを配置しており、どのような環境やミキシング状況でも快適に操作することができます。

また、RIVAGE PMシリーズのすべてのコントロールサーフェスには12本のフェーダーが3Bay搭載\*されており、適宜チャンネルを割り当てることができます。フェーダーグループの一部またはすべてが大型タッチパネルと連動し、進化した「Centralogic」インターフェースによる使い勝手を提供します。チャンネルストリップはシームレスにタッチパネルへと伸びて、明快でロジカルなコントロールを可能にします。12チャンネルごとのグループで各チャンネルを容易に管理できるだけでなく、別々のグループを同時にコントロールするツーマンオペレーションにも対応します。

\*CS-R10-Sは2Bay

## 急な変更にも迅速に対応できるオーバーレイフィルター



オーバーレイフィルターは、特にシーンメモリを多用するエンジニアの使い勝手を向上する機能です。これは現在のミックスのフェーダーレベルとMIX/MATRIXセンドレベルにオフセットを付加「重ねる(=Overlay)」し、すべてのシーンリコール操作においてそのオフセット値を保持できる機能です。例えば、予期しない演者の交代があった場合に有効で、作り込んだシーンメモリに変更を加えることなく一時的に相対的なオフセットレベルを調整し、必要に応じて即座に元の設定に戻すことができます。突然の一時的な変更に対応する際に、大いに役立ちます。

## フェイルセーフ用DSPミラーリング



RIVAGE PM10、RIVAGE PM5、RIVAGE PM3はフェイルセーフのためのDSPミラーリングに対応しています。2台の同じDSPエンジンを使用することで、万が一メインのDSPエンジンにトラブルが発生した場合でも、サブのDSPエンジンに切り替えることでショーを止めずに続行することができます。

\*RIVAGE PM7は、コンソールCSD-R7にDSPを内蔵しているため、DSPミラーリング非対応となります。

## 演劇やミュージカルで役立つシアターモード



シアターモードは、主に演劇やミュージカルなどの舞台転換・衣装替えの場面において、パフォーマー毎の適切なEQ/ダイナミクス設定の反映をスムーズに行える機能です。シアターモードではEQ/ダイナミクス設定をシーンメモリではなく専用の4つのバンクで管理し、バンク各々で調整されたEQ/ダイナミクス設定は全てのシーンメモリに共通の設定として保持されます。この機能により例えば、1つの役柄に複数のパフォーマーがキャスティングされている場合や、急な代役

への変更などの場面にて、素早く適切なEQ/ダイナミクス設定を呼び出すことができるなど、柔軟かつ迅速な対応が可能になります。また、ライブSRの場面においても、曲調に応じてEQ/ダイナミクス設定を即座に切り替えるような用途で活用できます。

## コンソールとのシームレスな連携を実現する各種アプリケーション



近年のデジタルコンソールでは、外部アプリケーションを使ったワイヤレスミキシングやモニターミキシング、オフラインでの事前準備を行えることが一般的になっています。RIVAGE PMシリーズも専用アプリケーションとしてRIVAGE PM StageMix、MonitorMix、RIVAGE PM Editorの3つを用意。いずれもコンソール本体とシームレスに連携し、どのデバイスを使用しても同じ感覚で操作できるように開発、デザインされたユーザーインターフェースが特長です。

RIVAGE PMシリーズのすべての操作機能についてはヤマハプロオーディオサイトをご覧ください。



# SYSTEM COMPONENTS

## RIVAGE PM10 コアコンポーネント



### CS-R10

RIVAGE PM10システム用コントロールサーフェス。大型タッチパネルディスプレイ2面と12フェーダーx3Bay構成を備え、自由度の高いチャンネルレイアウトが可能。

- ディスプレイ: 15" touch panel x 2
- フェーダー数: 38 (12+12+12+2)
- Selected Channelセクション: フルセレクトッドチャンネル
- Custom Fader Bank: 各BAY 6 x 5 (V4.0以降)
- User Defined Key: 12個 (12 x 4 バンク)
- User Defined Knob: 4 (x 4 バンク)
- Touch and Turn Knob: 2
- アナログ入出力: 8 in (SILK) / 8 out
- MYカードスロット x 2
- AES/EBU入出力: 8 in / 8 out (SRC搭載)
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), Word Clock Out, MIDI In/Out, 5 USB (1 for 2-track recording), Video Out (DVI-D), Network (PC), TO ENGINE In/Out
- 電源: 二重化電源標準搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 1,549 x 417 x 848mm
- 質量: 85 kg

### CS-R10-S

RIVAGE PM10システム用コントロールサーフェス。12フェーダーx2Bay構成を採用することで高い操作性はそのままに「CS-R10」の約3分の2のコンパクトサイズを実現。

- ディスプレイ: 15" touch panel x 1
- フェーダー数: 26 (12+12+2)
- Selected Channelセクション: フルセレクトッドチャンネル
- Custom Fader Bank: 各BAY 6 x 5 (V4.0以降)
- User Defined Key: 12個 (12 x 4 バンク)
- User Defined Knob: 4 (x 4 バンク)
- Touch and Turn Knob: 1
- アナログ入出力: 8 in (SILK) / 8 out
- MYカードスロット x 2
- AES/EBU入出力: 8 in / 8 out (SRC搭載)
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), Word Clock Out, MIDI In/Out, 5 USB (1 for 2-track recording), Video Out (DVI-D), Network (PC), TO ENGINE In/Out
- 電源: 二重化電源標準搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 1,128 x 417 x 848mm
- 質量: 67 kg

## RIVAGE PM7 コアコンポーネント



### CSD-R7

「CS-R10」と同等のミキシング体験を可能にしつつ、144Mono Input\*/60Mix+36Matrix+2Stereoのミキシングキャパシティを備えたRIVAGE PM7システム用DSP内蔵デジタルミキシングコンソール。

\*V4.0以降

- ミキシングキャパシティ: 144 Mono Input, 60 Mix, 36 Matrix, 2 Stereo
- ディスプレイ: 15" touch panel x 2
- フェーダー数: 38 (12+12+12+2)
- Selected Channelセクション: フルセレクトッドチャンネル
- Custom Fader Bank: 各BAY 6 x 5 (V4.0以降)
- User Defined Key: 12個 (12 x 4 バンク)
- User Defined Knob: 4 (x 4 バンク)
- Touch and Turn Knob: 2
- アナログ入出力: 8 in (SILK) / 8 out
- スロット数: HYカードスロット x 3, MYカードスロット x 2
- AES/EBU入出力: 8 in / 8 out (SRC搭載)
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), TC In, Word Clock In/Out, MIDI In/Out, 5 USB (1 for 2-track recording), Video Out (DVI-D), Network (PC), CONSOLE NETWORK In/Out
- 電源: 二重化電源標準搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 1,549 x 417 x 848mm
- 質量: 94 kg

## RIVAGE PM5 コアコンポーネント



### CS-R5

RIVAGE PM5システム用のコントロールサーフェス。驚異的な軽量化とサイトラインを実現。第3のタッチパネルディスプレイを追加したことでさらに直感的で自由な操作が可能。

- ディスプレイ: 15" touch panel x 3 (静電容量式)
- フェーダー数: 38 (12+12+12+2)
- Selected Channelセクション: Dynamics, Gain, HPF, EQ, PAN, Function Knob
- Custom Fader Bank: 各BAY 6 x 5
- User Defined Key: 12個 (12 x 4 バンク)
- User Defined Knob: 3 (4 x 4 バンク割当可能)
- Touch and Turn Knob: 3
- アナログ入出力: 8 in / 8 out
- MYカードスロット x 2
- AES/EBU入出力: 4 in / 4 out (SRC搭載)
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), MIDI In/Out, 5 USB (1 for 2-track recording), Network (PC), CONSOLE NETWORK In/Out
- 電源: 二重化電源標準搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 1,444 x 414 x 643mm
- 質量: 42 kg



# SYSTEM COMPONENTS

## RIVAGE PM3 コアコンポーネント



### CS-R3

RIVAGE PM3システム用コントロールサーフェス。シリーズ最小最軽量ながらも12x3Bay構成を実現し、機能と使い勝手を高い次元で両立したコストパフォーマンスに優れたモデル。

- ディスプレイ: 15" touch panel x 1 (静電容量式) • フェーダー数: 38 (12+12+12+2)
- Selected Channelセクション: Dynamics, Gain, HPF, EQ, PAN, Function Knob
- Custom Fader Bank: 各BAY 6 x 5
- User Defined Key: 24個 (12 x 4バンク)+ 2個
- Send/User Defined Knob: 1 (4 x 4 バンク割当可能)
- Touch and Turn Knob: 1
- アナログ入出力: 8 in / 8 out • MYカードスロット x 2
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), MIDI In/Out, 5 USB (1 for 2-track recording), Network (PC), CONSOLE NETWORK In/Out
- 電源: 二重化電源標準搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 1,145 x 385 x 650mm
- 質量: 38 kg

## DSP エンジン



### DSP-RX-EX/DSP-RX

RIVAGE PMシステムの信号処理とシステムコントロールを担うDSPエンジン。処理能力の異なる2モデルをラインナップ。

- 96kHzプロセッシング
- DSP-RX-EX: 288 Mono Input, 72 Mix, 36 Matrix, 2 Stereo
- DSP-RX: 120 Mono Input, 48 Mix, 24 Matrix, 2 Stereo
- HYカードスロット x 4 • MYカードスロット x 2
- コントロールI/O端子: GPI (8 in / 8 out), TC In, Word Clock In/Out, MIDI In/Out, Remote (RS422/232C), CONSOLE NETWORK In/Out, Fault Output, 2 Network (1 for PC)
- 電源: 二重化電源搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 480 x 220 x 491mm
- 質量: DSP-RX-EX: 20 kg, DSP-RX: 19 kg

\*DSP-RXは別売のシグナルプロセッサアクセサリ DEK-RX-EXにより、DSP-RX-EXにアップグレードすることが可能

### DSP-R10

144Mono Input, 72Mix, 36Matrix, 2Stereoのミキシングキャパシティを備えた、RIVAGE PMシステム用DSPエンジン。

## I/O ラック



### RPio622

システム規模に応じて自由に入出力カードを構成し、TWINLANeネットワークによる低レイテンシー伝送を実現するRIVAGE PMシステム用I/Oラック。

- アナログ / デジタル入出力を自由に構成可能なRYカードスロットを6基搭載
- 6基のRYカードスロットには、RY16-ML-SILK、RY16-DA、RY16-AEの3種類のRYカードから必要に応じて自由に構築可能  
\*RYカードの詳細は次項をご確認ください。
- HYカードスロットを2基搭載。
- HYカードスロット1はTWINLANeネットワークに対応。HY256-TL/HY256-TL-SMFを装着することで、最大256chの入出力に対応。
- HYカードスロット2はDante/MADIに対応。HY144-D/HY144-D-SRC、HY128-MDを装着することで、最大144chの入出力に対応。
- 2基のMYカードスロットを搭載
- 電源: 二重化電源搭載
- 外形寸法 (WxHxD): 480 x 455 x 489.7mm (10Uラックサイズ)
- 質量: 30 kg



### RPio222

システム規模に応じて自由に入出力カードを構成し、TWINLANeネットワークによる低レイテンシー伝送を実現するRIVAGE PMシステム用I/Oラック。

- アナログ / デジタル入出力を自由に構成可能なRYカードスロットを2基搭載
- 2基のRYカードスロットには、RY16-ML-SILK、RY16-DA、RY16-AEの3種類のRYカードから必要に応じて自由に構築可能  
\*RYカードの詳細は次項をご確認ください。
- HYカードスロットを2基搭載。 • HYカードスロット1はTWINLANeネットワークに対応。HY256-TL/HY256-TL-SMFを装着することで、最大256chの入出力に対応。
- HYカードスロット2はDante/MADIに対応。HY144-D/HY144-D-SRC、HY128-MDを装着することで、最大144chの入出力に対応。
- 2基のMYカードスロットを搭載 • 電源: 二重化電源搭載 • 外形寸法 (WxHxD): 480 x 232 x 491mm (5Uラックサイズ)
- 質量: 19 kg

### Rio3224-D2

Danteネットワークによる柔軟かつ容易なシステム構築が可能なI/Oラック。RIVAGE PMシリーズ直系の音楽的でナチュラルなサウンドを実現。

- アナログ32In / 160Out • AES/EBU8チャンネルデジタル出力 • リダンダント接続、デジチェーン接続双方に対応
- 電源: 二重化電源搭載 • ディスプレイ搭載による視認性向上とゲイン等の本体操作に対応
- 外形寸法 (WxHxD): 480 x 220 x 367.5mm • 質量: 13.5 kg



### Rio1608-D2

Danteネットワークによる柔軟かつ容易なシステム構築が可能なI/Oラック。RIVAGE PMシリーズ直系の音楽的でナチュラルなサウンドを実現。

- アナログ16In / 80Out • リダンダント接続、デジチェーン接続双方に対応 • 電源: 二重化電源搭載
- ディスプレイ搭載による視認性向上とゲイン等の本体操作に対応
- 外形寸法 (WxHxD): 480 x 132x 367.5mm • 質量: 9.6 kg





# SYSTEM COMPONENTS AND SOFTWARE

## オーディオインターフェースカード



RY16-ML-SILK	for RPi622 / RPi6222
RIVAGE PMシリーズ専用の16chのMic/Line 入力カード。Rupert Neve Designs 社のSILK プロセッシングを全chに搭載。 • 外形寸法 (WxHxD): 405 x 42 x 258mm    • 質量: 1.6 kg	



RY16-DA	for RPi622 / RPi6222
16chアナログ出力カード。最大出力レベルは、基板上のスイッチを切り替えることで+15dBu、+18dBu、+24dBuに設定可能*。 • 外形寸法 (WxHxD): 405 x 42 x 258mm    • 質量: 1.5 kg    *工場出荷時は+24dBu	



RY16-AE	for RPi622 / RPi6222
AES/EBU対応の16chデジタル入出力カード。すべての入出力にサンプリングレートコンバーター (SRC)を搭載。 • 外形寸法 (WxHxD): 405 x 42 x 258mm    • 質量: 1.4 kg	



HY256-TL	for DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10/CSD-R7/RPi622/RPi6222	
ヤマハ独自のオーディオ伝送ネットワークプロトコルTWINLANeに対応するRIVAGE PMシリーズ用インターフェースカード。最大256In/256Out@96kHz/32bitのデジタル入出力が可能。マルチモードファイバーケーブルを使ったリング接続により冗長性を確保。カード間の最大伝送距離は300mを実現。 • 推奨ケーブル: ノイトリック社製「opticalCON DUO」マルチモード光ファイバー    • 外形寸法 (WxHxD): 125 x 37 x 207mm    • 質量: 0.25 kg		



HY256-TL-SMF	for DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10/CSD-R7/RPi622/RPi6222	
ヤマハ独自のオーディオ伝送ネットワークプロトコルTWINLANeに対応するRIVAGE PMシリーズ用インターフェースカード。最大256In/256Out@96kHz/32bitのデジタル入出力が可能。シングルモードファイバーケーブルを使ったリング接続でカード間の最大伝送距離は2km、TWINLANeリングの合計ケーブル長は6kmに対応。 • 推奨ケーブル: ノイトリック社製「opticalCON DUO」シングルモード光ファイバー    • 外形寸法 (WxHxD): 125 x 37 x 207mm    • 質量: 0.35 kg		



HY144-D	for DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10/CSD-R7/RPi622/RPi6222	
オーディオネットワークDanteに対応するRIVAGE PMシリーズ用インターフェースカード。最大144In/144Out@96kHz/32bitのデジタル入出力が可能。 • プライマリー・セカンダリーの2つのコネクタによるリダンダント (二重化) に対応し、デジizerチェーン接続 (非二重化) にも対応    • 外形寸法 (WxHxD): 125 x 37 x 207mm    • 質量: 0.25 kg		



HY144-D-SRC	for DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10/CSD-R7/RPi622/RPi6222	
オーディオネットワークDanteに対応するRIVAGE PMシリーズ用インターフェースカード。最大144In/144Out@96kHz/32bitのデジタル入出力が可能。サンプリングレートコンバーター (SRC) により、異なるサンプリング周波数の機器を接続可能。SRCのON/OFF、入出力チャンネル違いで5つのモードでの動作に対応。 • プライマリー・セカンダリーの2つのコネクタによるリダンダント (二重化) に対応し、デジizerチェーン接続 (非二重化) にも対応 • モード: 144io (SRCオフ, 144入出力), 144io SyncSRC (SRCオン, 同期, 144入出力), 72io AsyncSRC (SRCオン, 非同期, 72入出力), 144in AsyncSRC (SRCオン, 非同期, 144入力, 0出力), 144o AsyncSRC (SRCオン, 非同期, 0入力, 144出力)    • 外形寸法 (WxHxD): 125 x 37 x 207mm    • 質量: 0.25 kg		



HY128-MD	for DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10/CSD-R7/RPi622/RPi6222	
オーディオフォーマットMADIに対応するRIVAGE PMシリーズ用インターフェースカード。最大128In/128Out@48kHz/24bitのデジタル入出力が可能 (96kHz 時は最大64チャンネル入出力)。サンプリングレートコンバーター (SRC) により、異なるサンプリング周波数の機器を接続可能。 • MADI回線は同軸とオプティカルによる両コネクタによる二重化に対応しており、万が一、片方のケーブルが切断された際にも音切れなく運用が可能。    • 外形寸法 (WxHxD): 125 x 37 x 207mm    • 質量: 0.45 kg		

※すべてオープンプライス

## ソフトウェア



### RIVAGE PM StageMix

RIVAGE PM StageMixはiPad用アプリケーションで、シンプルで直感的なグラフィカルインターフェースを介して、ワイヤレスの通信範囲内であればどこからでもRIVAGE PMシリーズのリモートコントロールを可能にします。エンジニアがステージ上のパフォーマーの位置からモニターミックスを調整できるように設計されており、別のエンジニアに口頭で指示を出さなくても、ミックスパラメーターをコントロールできます。

### MonitorMix

RIVAGE PMシリーズのMonitorMixアプリケーションは、iPhoneやiPad、iPod touchなどのデバイスから最大10台まで同時に使用することができ、各演奏者が手元で自分のモニターミックスを作ることができます。



### RIVAGE PM Editor

RIVAGE PM Editorは、WindowsまたはMac用のスタンドアロンアプリケーションで、オンラインでの操作とオフラインでの設定および編集の両方に対応しています。

### Console File Converter

ヤマハコンソールファイルコンバータは、様々なヤマハデジタルミキシングコンソール間でデータを共有するためのアプリケーションです。RIVAGE PMシリーズ、CL/QL シリーズ、PM5D、M7CL、LS9の各コンソール間でデータを共有できるため、別のコンソールを使用している、あるイベントのデータを別のイベントのために最初からプログラムし直す必要はありません。

## RIVAGE PM5、RIVAGE PM3 における 64ch Mic/Line 入力、32ch アナログ出力時の基本機器構成

### CS-R5でRPioを使用したシステム

CS-R5にDSP-RXとRPio622を組み合わせたTWINLANeネットワークによるRIVAGE PM5システムです。RPio622によりSILKプロセッシングに対応した64ch Mic入力、32chアナログ出力を構成しています。



構成内容  
• コントロールサーフェス: CS-R5 x 1台  
• DSPエンジン: DSP-RX x 1台  
• I/Oラック: RPi622 x 1台  
(RY16-ML-SILK x 4枚, RY16-DA x 2枚)  
• オーディオインターフェースカード: HY256-TL x 2枚  
※別途LANケーブル等が必要となります。

### CS-R5でRio-D2を使用したシステム

CS-R5にDSP-RXとRio3224-D2 (x2台)を組み合わせた、DanteネットワークによるRIVAGE PM5システムです。64chマイク入力、32chアナログ出力のシンプルなシステム構成となります。



構成内容  
• コントロールサーフェス: CS-R5 x 1台  
• DSPエンジン: DSP-RX x 1台  
• I/Oラック: Rio3224-D2 x 2台  
(RY16-ML-SILK x 4枚, RY16-DA x 2枚)  
• オーディオインターフェースカード: HY144-D x 1枚  
※別途LANケーブル等が必要となります。

### CS-R3でRPioを使用したシステム

CS-R3にDSP-RXとRPio622を組み合わせたTWINLANeネットワークによるRIVAGE PM3システムです。RPio622によりSILKプロセッシングに対応した64ch Mic入力、32chアナログ出力を構成しています。



構成内容  
• コントロールサーフェス: CS-R3 x 1台  
• DSPエンジン: DSP-RX x 1台  
• I/Oラック: RPi622 x 1台  
(RY16-ML-SILK x 4枚, RY16-DA x 2枚)  
• オーディオインターフェースカード: HY256-TL x 2枚  
※別途LANケーブル等が必要となります。

### CS-R3でRio-D2を使用したシステム

CS-R3にDSP-RXとRio3224-D2 (x2台)を組み合わせた、DanteネットワークによるRIVAGE PM3システムです。64chマイク入力、32chアナログ出力のシンプルなシステム構成となります。



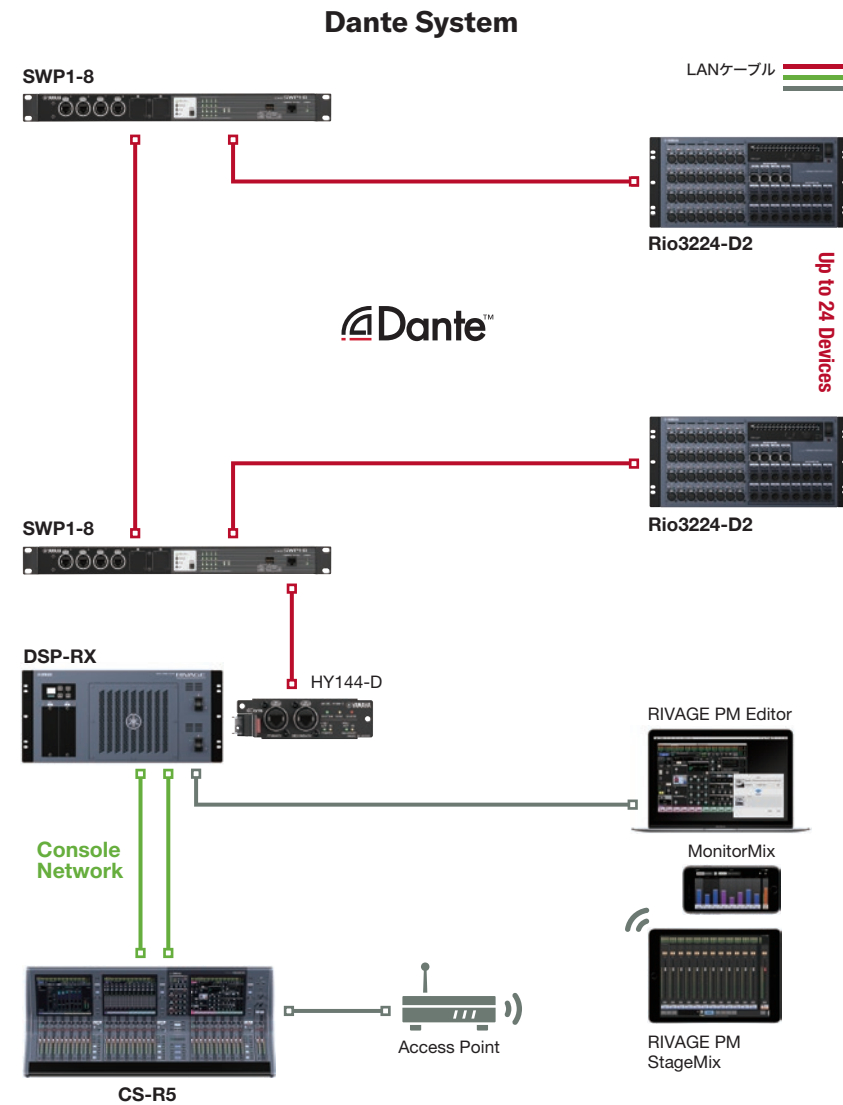
構成内容  
• コントロールサーフェス: CS-R3 x 1台  
• DSPエンジン: DSP-RX x 1台  
• I/Oラック: Rio3224-D2 x 2台  
• オーディオインターフェースカード: HY144-D x 1枚  
※別途LANケーブル等が必要となります。



## SYSTEM CONFIGURATION

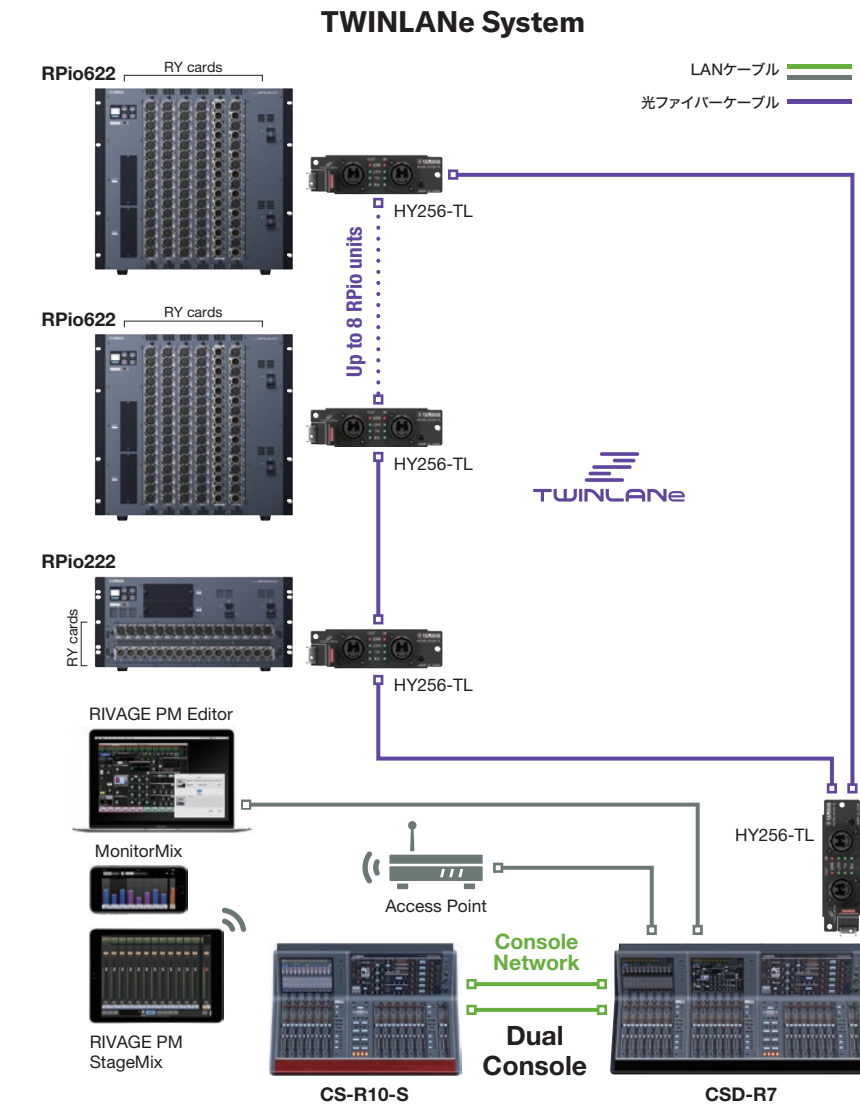
## システム構成例 1

RIVAGE PM5システムをDanteネットワークで構成した例です。RIVAGE PM5システムはコントロールサーフェスCS-R5とDSPエンジンDSP-RXを組み合わせた最大120chミキシングキャパシティを構成、Danteネットワークの入出力はDanteに対応したインターフェースカードHY144-DとI/OラックRio3224-Dを組み合わせた64Mic/Line Inを構成したシステムです。RIVAGE PMシリーズにおけるDanteシステムの基本となる構成例であり、RIVAGE PM3等にも応用できます。また、対応するDante機器は最大48台（HYカードスロット1つにつき最大24台）までマウント可能です。



## システム構成例 2

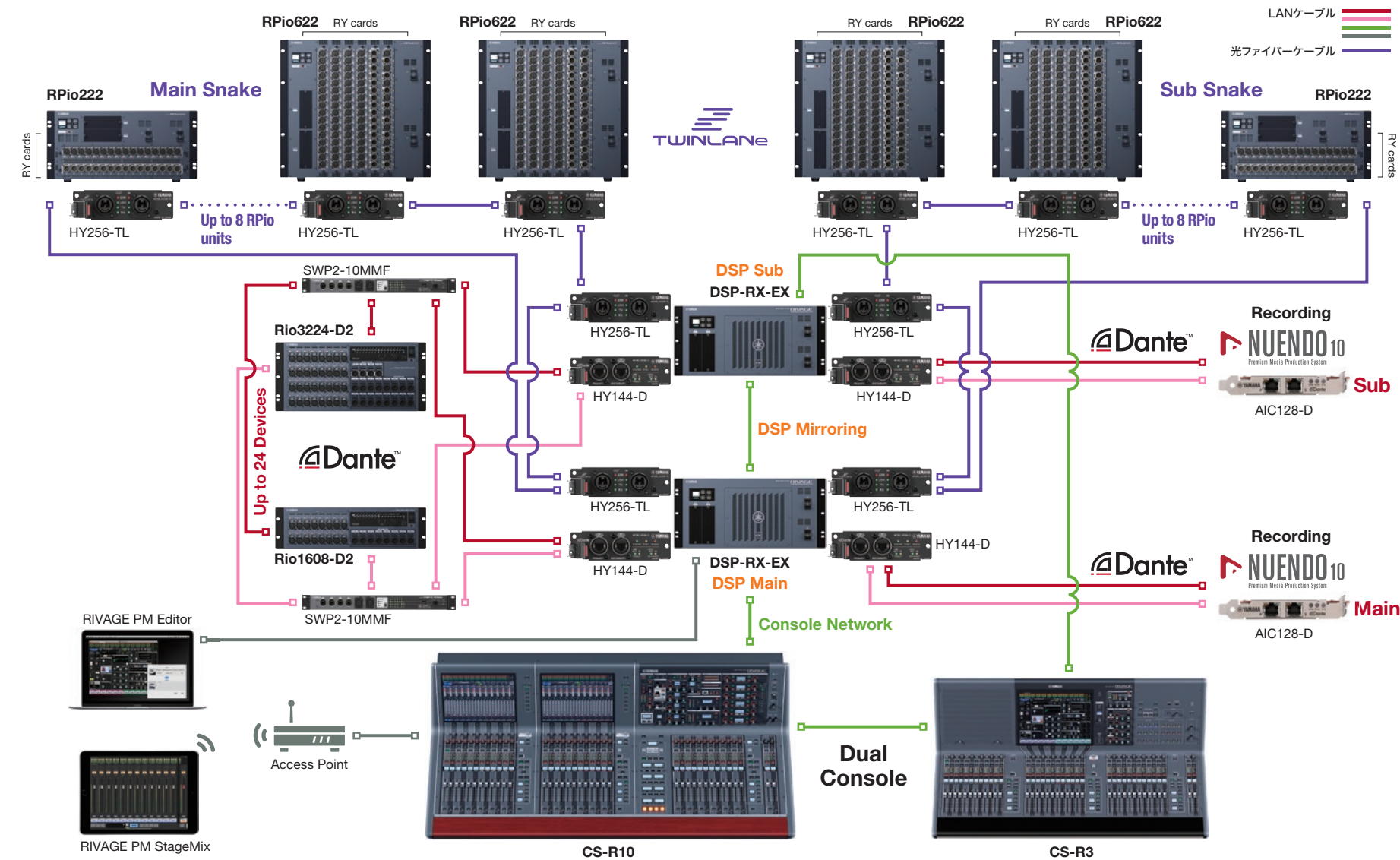
RIVAGE PM7システムをTWINLANeネットワークで構成した例です。CSD-R7はDSPエンジンを搭載しているため、よりシンプルなシステム構築を得意とします。コントロールサーフェスおよびI/OロックのRPI622/RPI0222にTWINLANe対応のインターフェースカードHY256-TLをそれぞれ装着し、これらを光ケーブルでリング状に接続することで、ケーブル切断などのトラブルに対して冗長性の高いTWINLANeネットワークを構築できます。さらにコントロールサーフェスCS-R10-Sを接続することで、フェーダー数の拡張や複数名でのオペレートなど、より高い自由度を持ったシステムを構築することが可能です。



### システム構成例 3

RIVAGE PMシステムでは、TWINLANeネットワークとDanteネットワークをひとつのRIVAGE PMシステムに共存させることが可能です。RPIO622/RPIO222は最大8台、RIO3224-D2/RIO1608-D2は他の対応Danteデバイスを含め最大48台(HYカードスロット1につき最大24台)までマウントできます。すべてのコンポーネントは2台の電源ユニットを内蔵し、電源の二重化を行っている他、下記システムではDSPミラーリングも構築しており、トラブルに対する冗長性を更に高めています。RIVAGE PMシリーズではTWINLANeネットワークを2系統(Main Snake

および Sub Snake) 設定できるため、I/O ラックの設置場所が多岐にわたり RPio が 8 台では不足する場合や、大規模システムの管理体系をシンプルに分けたい場合に利用できます。また、他のヤマハデジタルミキシングコンソール同様、RIVAGE PM Editor や RIVAGE PM StageMix、MonitorMix などのアプリケーションに対応しており、自由度の高いリモートコントロールが可能です。マルチトラックレコーディングを行う場合は、Dante を使用し、Dante Accelerator (PCIe カード) を装着したコンピュータで最大 128In/128Out (Fs=96kHz) のレコーディング環境を構築できます。





FUNCTIONAL SPECIFICATIONS

			RIVAGE PM10 (CS-R10)	RIVAGE PM10 (CS-R10-S)	RIVAGE PM7 (CSD-R7)	RIVAGE PM5 (CS-R5)	RIVAGE PM3 (CS-R3)
ミキシング キャパシティ	インプットミキシング チャンネル	DSP-RX-EX	288		-	288	
		DSP-RX	120		-	120	
		DSP-R10	144			144	
		Internal	-		144 (V4.0以降)	-	
	Mixバス	DSP-RX-EX	72		-	72	
		DSP-RX	48		-	48	
		DSP-R10	72		-	72	
		Internal	-		60	-	
	Matrix	DSP-RX-EX	36 (Input to Matrix に対応)		-	36 (Input to Matrix に対応)	
		DSP-RX	24 (Input to Matrix に対応)		-	24 (Input to Matrix に対応)	
		DSP-R10	36 (Input to Matrix に対応)		-	36 (Input to Matrix に対応)	
		Internal	-		36 (Input to Matrix に対応 /V4.0以降)	-	
ローカル コネクター	Stereoバス				2		
	Mono				1		
	Cue				2		
	アナログ	in	8 (SILK)			8	
		out				8	
	デジタル	AES IN	8			4	-
		AES OUT	8			4	-
	スロット	HY	4 (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)		3	4 (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)	
		MY	2+2 (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)		2	2+2 (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)	
	GPI	IN	8 (コンソール、DSP エンジンともに)		8	8 (コンソール、DSP エンジンともに)	
		OUT	8 (コンソール、DSP エンジンともに)		8	8 (コンソール、DSP エンジンともに)	
	ワードクロック I/O		IN (DSP エンジン)/OUT (コンソール、DSP エンジン)		IN/OUT	IN/OUT (DSP エンジン)	
	MIDI I/O		IN/OUT (コンソール、DSP エンジンともに)		IN/OUT	IN/OUT (コンソール、DSP エンジンともに)	
	USB	File				4	
		rec/play				1	
	二重化電源		Yes (コンソールおよび DSP エンジン)		Yes (コンソール)	Yes (コンソールおよび DSP エンジン)	
	メーターブリッジ					On screen	
	ランプ		4	3	4	3	2
	Talkback In		Yes			No	
	Video Out		Yes			No	
	TC In		Yes (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)		Yes	Yes (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)	
	Fault Output		Yes (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)		Yes	Yes (DSP-RX-EX/DSP-RX/DSP-R10)	
	Phones		2 x 2 connectors		2 connectors		1 connectors
	AC電源入力					2 (V-Lock Type)	
シーン メモリー	シーン数					1000	
	リコールセーフ					Yes	
	フォーカスリコール					Yes	
	フェードタイム					Yes (0s ~ 60s)	
	プレビュー					Yes	
	シーン/ライブラリーの個別セーブ/ロード					Yes	
	グローバルベースト					Yes	
	イベントリスト					Yes	
	オーバーレイフィルター					Yes	
	アイソレート機能					Yes	
	シーンコントロールキー					Yes	
						Yes	
インプット チャンネル 機能	ゲインコンベンセーション					Yes	
	SILK		Yes (ローカルインプットおよび RPIO 使用時)		Yes (ローカルインプットおよび RPIO 使用時)	Yes (RPIO 使用時)	
	デジタルゲイン					Yes (-96dB ~ +24dB)	
	HPF					20Hz~2000Hz, -6/-12/-18/-24dB/oct Selectable	
	PEQ					4 Band Full PEQ (アッテネーター、RTA オーバーレイ、4 種類のアルゴリズムを搭載)	
	ダイナミクス1					Legacy Comp / Comp260 / Gate / De-Esser / Expander / Ducking	
	ダイナミクス2					Legacy Comp / Comp260 / Gate / De-Esser / Expander / Ducking	
	インプットディレイ					Yes (0ms ~ 1000ms)	
	Pan					Center Nominal	

		RIVAGE PM10 (CS-R10)	RIVAGE PM10 (CS-R10-S)	RIVAGE PM7 (CSD-R7)	RIVAGE PM5 (CS-R5)	RIVAGE PM3 (CS-R3)	
インプット チャンネル 機能	DCAグループ	8 Band Full PEQ ( アッテネーター、RTA オーバーレイ、4 種類のアルゴリズムを搭載 )					
	DCAロールアウト	Yes					
	MUTEグループ	12					
	インサート数	4 x 2 系統					
	ダイレクトアウト	Yes					
アウトプット チャンネル 機能	PEQ	8 Band Full PEQ					
	GEQ	Plug-in					
	ダイナミクス 1	Legacy Comp / Comp260 / Gate / De-Esser / Expander / Ducking					
	アウトプットディレイ	Yes (0ms ~ 1000ms)					
	MUTE グループ	12					
プラグイン	インサート数	4 x 2 系統					
	スロット数	DSP-RX-EX DSP-RX / Internal	512	-	512		
	エフェクトプログラム数	50 以上					
GEQラック	GEQ ラック数	48					
TWINLANe	マウント可能なデバイス	31BandGEQ / Flex15GEQ / 8Band PEQ (RTA 表示に対応)					
	入出力チャンネル数	256 in / 256 out (with HY256-TL/HY256-TL-SMF)@1port					
Dante	入出力チャンネル数	144 in / 144 out (with HY144-D/HY144-D-SRC)@1port					
レコーディング	USB メモリーレコーディング	Yes					
	Dante Virtual Soundcard	Yes (with HY144-D/HY144-D-SRC)					
ブロード キャスト機能	5.1 サラウンドバンニング	Yes					
	サラウンドモニター	Yes					
	ミックスマイナス	Yes					
モニター	Solo Mode	Yes					
	オシレーター	Sine Wave 1ch / Sine Wave 2ch / Pink Noise / Burst Noise					
その他の機能	Port to Port	Yes					
	デュアルコンソール	Yes					
	DSP ミラーリング	Yes	No	Yes			
	タイムコードリーダー／ディスプレイ	Yes					
	タイムコードチェイス (イベントリスト)	Yes					
	GPI/MIDI	Yes					
	RTA	Yes					
	アウトプットポートディレイ	Yes (0ms ~ 1000ms)					
	Mix/Matrix to Input	Yes					
	Sub In	Yes					
	シアターモード	Yes					
	ユーザー インター フェース	ディスプレイ	15 inch Touch Panel x 2	15 inch Touch Panel x 1	15 inch Touch Panel x 2	静電容量式 15 inch Touch Panel x 3	静電容量式 15 inch Touch Panel x 1
Centrallogic セクション		Yes					
フェーダー構成		12 + 12 + 12 + 2	12 + 12+ 2	12 + 12 + 12 + 2			
セレクトッドチャンネルエンコーダー		All Parameters			Dynamics, GAIN, HPF, EQ, PAN, Function Knob		
チャンネルエンコーダー		Yes					
チャンネルネーム / カラーディスプレイ		Yes					
カスタムフェーダーバンク		Yes (各ペイ上に 6 x 5 / V4.0 以降)			Yes (各ペイ上に 6 x 5)		
User Defined Key		12 個 (12 x 4 バンク)					
User Defined Knob		4 (x 4 バンク)			3 (4 x 4 バンク割当可)	24 個 ( 12 x 4 バンク ) + 2 個	
Touch and Turn Knob		Yes (2)	Yes (1)	Yes (2)	Yes (3)	1 (4 x 4 バンク割当可)	
Monitor Level Knob		Yes (2: A and B)					
木製アームレスト		Yes					
ソフトウェア	Editor ソフトウェア	RIVAGE PM Editor					
	StageMix	RIVAGE PM StageMix					
	MonitorMix	Yes (V4.0 以降)					
	Console File Converter	Yes					
付属品	電源コード x 2、ダストカバー、 照明ランプ LA1L x 4		電源コード x 2、ダストカバー、 照明ランプ LA1L x 3	電源コード x 2、ダストカバー、 照明ランプ LA1L x 4	電源コード x 2、ダストカバー、 Nuendo Live2	電源コード x 2、ダストカバー、 Nuendo Live2	





## 【使用に関するお願い】

●実際に商品をご使用になる前に、取扱説明書に記載されている使用上の注意及び危険防止に関する注意事項をよくお読みくださいますようお願い申し上げます。

## 【その他使用上の注意】

- 設置工事については、必ず販売店にご相談ください。
- 指定、推奨のネジ以外では正しく設置できない場合がありますのでご注意ください。
- 海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意ください。
- 高所取付商品、ラック形状の商品は、正しく設置しないと落下・転倒等が起きる場合がありますのでご注意ください。
- 発熱の多い商品は、正しく設置されないと正常に動作しなかったり火災の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- ポータブルタイプの商品は、移動時に衝撃を与えないでください。また、水のかかる場所での使用、直射日光の当たる場所での長時間の使用は避けてください。

【保証書に関するお願い】●保証書が添付されている商品については、店名、ご購入期日の記載を確認の上、大切に保存してください。システム一括購入の場合は、契約時に保証書の扱いについて販売店に必ずご相談ください。

【その他付記事項】●仕様および外観、価格などは改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

## お問い合わせ：

- 本カタログに掲載の商品名・社名等は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに印刷された商品の色調は、実際の商品と多少異なる場合があります。
- 本カタログに掲載の商品の価格は全てメーカー希望小売価格で税抜き金額を表示しています。
- 本カタログに掲載しております全ての商品のメーカー希望小売価格には配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り等は含まれておりません。



このカタログは植物油インキで印刷しています。

## 商品の機能や操作法に関するお問い合わせ窓口



### プロオーディオ・インフォメーションセンター

(電話受付＝祝祭日を除く月～金／11：00～17：00)

■TEL: 0570-050-808 (ナビダイヤル、全国共通番号)

(IP 電話、PHS をご使用で) 上記番号でつながらない場合は 03-5488-5447 発信者番号を通知する設定にしておかけください。

■オンラインサポート：<http://jp.yamaha.com/support/>



FAQ: <http://yamaha.custhelp.com/>

よくあるお問い合わせを商品別にまとめております。

購入前の機能確認、購入後の問題解決などにご活用ください。

## 商品取扱店に関するお問い合わせ窓口

### 株式会社ヤマハミュージックジャパン

#### PA 営業部

東日本営業課 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 41-12 KDX 箱崎ビル TEL.03-5652-3850

西日本営業課 〒556-0011 大阪市浪速区難波中 1-13-17 ナンバ辻本ビル 6F TEL.06-6649-9116

#### LM 営業部

東日本営業課 〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL.03-5488-5471

西日本営業課 〒556-0011 大阪市浪速区難波中 1-13-17 ナンバ辻本ビル 5F TEL.06-6649-9115



Facebook

ヤマハコマーシャルオーディオジャパン



Instagram

ヤマハプロオーディオオフィシャル



Twitter

ヤマハコマーシャルオーディオジャパン



2020年5月作成

カタログコード **-LP748**